



兵藤希美ちゃん（神明町六丁目）

子育て・子育て支援情報

高浜市乳児保育憲章を制定しました

平成21年3月18日、「高浜市乳児保育憲章」を制定いたしました。

この憲章では、特に0歳児から2歳児の乳児に関わる大人が、乳児を一人の人として大切に待つことを大切にし、乳児の声を聴くことに心をくだき、ことに努めることとしています。地域の皆様と一緒に、次世代の高浜市を担ってくれる子どもたちを育てていくという思いが込められています。

この憲章は、3月18日、平成20年度の子育て・家族支援者養

成講座の閉校式で行われた公開シンポジウム「高浜発！新たな乳児保育を目指して」の中で、市長から発表されました。当日は、約40人の受講者と関係者が参加しました。講師の大日向雅美先生、汐見裕幸先生、岡健先生から、乳児期の子育て・保育の大切さ、乳児一人ひとりが人として大切にされることの必要性、乳児の声を聴くことの大切さなどの話があり、参加者は、改めて子どもの権利の大切さを認識しました。

白梅学園大学学長の汐見先生からは、子どもには、3つの権利があるというお話をいただきました。子どもが産まれてきてよかったと感じる権利、選択する権利、納得する権利

子どもは、産まれる時代や家庭環境、親などは選べないものであるが、そのほかは、産まれた後に選択することができるものである。産まれた後には、自分が自ら選択する力を持つているものである。失敗することもあるが、それを周りの大人が諭し、子ども自身が納得していくことができるものである。ルールはルールとして学んでいくものであり、何でも自分が選べば

高浜市乳児保育憲章

平成21年3月18日制定

高浜市では、一人一人の乳児が、人として大切にされ、安心できる環境の中で、自分を深く信頼し、のびのびと育つことができるように、次のことに心がけて、乳児を育てていきます。

- 1 乳児の可能性を信じ、その表情や態度から、一人一人の乳児の声を聴き取る努力をする中で、それぞれのもつ力が豊かに引き出されるよう、育てていきます。
- 2 乳児の経験を大切にし、「見守り」、「気にかけて」、「待つ」ことに心をくだき、育てていきます。
- 3 地域のすべての大人が、乳児の健やかな成長を願い、それぞれの家庭の子育てを支え、支えあいます。

いいわけではないこと。そのほか、具体例として、大日向先生の実例から、次のようなお話がありました。公園で人気の遊具に親子が列を作って待っていた時の話。列の途中から一人の子どもの親が割り込んだ。その子どもの親が言った言葉。「この子は、今この遊具に興味がある。その興味を伸ばすことを止めることは教育的によくない。」

それに対し、並んでいた親の反応は、どうだったのか。ルールを守ることを子どもに教えることが一般的かと思っていたら、並んでいたうちの5人ぐらいのお母さんは、「私たちの教育の仕方は間違っていたのですか？」と不安になってしまった。そのような反応があった。今の母さんたちは、そういう悩みを抱えているのです。憲章に関して、市長からは、「待つ」ことの大切さ。

心を砕くことの大切さ。についてコメントがありました。このようなシンポジウムの後、当日参加した受講生の皆さんの賛同を得て、憲章を制定しました。この憲章の理念を乳児保育の現場に活かすため、今年度も「子育て・家族支援者養成講座」を実施します。

子育て・家族支援者養成講座受講者募集



「子育てしやすい地域づくり」や「地域における子育て支援力の醸成」を目的として、NPO法人あい・ぽーと・ステーションが運営・認定を行う「子育て・家族支援者養成講座」を実施します。

この講座では、市内3か所の家庭的保育など子育て支援施設での有償活動に従事する際に必要な知識と技術を習得できます。全講座を修了し「子育て・家族支援者」としての認定を受けた人には、活動の紹介と講義や実習などのバックアップ研修を行うていく予定です。

子育て経験や社会経験を役立ててみませんか。対象 20歳以上の市内在住、在勤、在学の方。または高浜市内で活動できる方。

とき 6月1日(月)・8日(月)・11日(木)・15日(月)・18日(木)・22日(月)・29日(月)・7月7日(火)・14日(火)・21日(火)・24日(金)の10日間(全30コマ)の講座を実施します。

※全講座受講者は、講座修了後に別途、認定試験があります。全講座に出席できない方は、認定できませんので、あらかじめご了承ください。

時間 原則、10時から16時30分
会場 日本福祉大学高浜専門学校 校講義室ほか
内容 講義・施設見学
※全講座に出席レポートがあります。

費用 資料代(500円)
講師 大日向雅美(恵泉女子学園大学大学院教授、「あい・ぽーと」施設長、汐見裕幸(白梅学園大学学長)、岡健(大妻女子大学准教授) ほか

申込方法 このも育成グループに電話でお問い合わせください。

お詫び

4月1日号の子育て・子育て支援情報47において、保育サービスマス評価結果の公表をお知らせしましたが、市公式HPへの掲載が遅れましたこと、お詫び申し上げます。

わたしたちと一緒に子育てを応援しませんか

家庭的保育は、地域における子育て環境の充実を目指して市内3か所で開設されています。子育て中の家庭や子どもを支援するために、家庭的な雰囲気の中で乳幼児をお預かりしています。

市内の家庭的保育の様子と、現在活躍中の先輩を紹介します。

となりのおばちゃん (本郷町)

春の日差しのような保育者とお子様もHOTになれる場所です。子どもたちの笑顔が輝く、安定とゆとりのある場所です。



あいあい (青木町)



笑顔と愛情をモットーに、楽しく保育をしています。子どもたちに目の行き届く、パステル調のお部屋で、保育者にとっても、子どもにとっても、温かく心地の良い空間です。天気の良い日はお散歩に出かけるなど、自然とのふれあいを大切にしています。

こっこママ (呉竹町)

おはよう！と朝の挨拶。子どもたちから笑顔と元気もらい、今日もスタート。子ども好きなスタッフと子どもたちの日々の成長を楽しみに保育しています。



申込・問合せ先 園こども育成グループ ☎52-1111 (内線363)